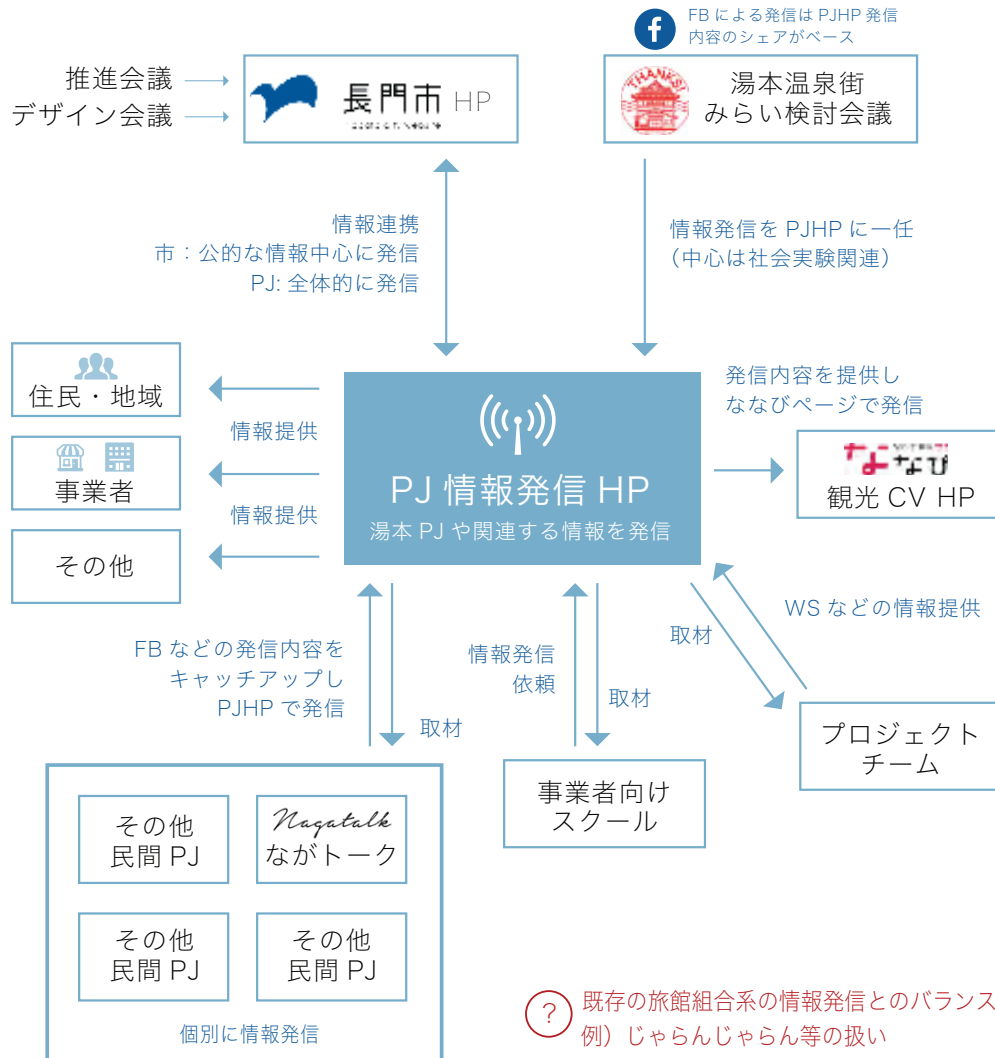


1. プロモーション事業の整理



2. プロモーションする目的

① まちが大きく変わっていった様子を伝える

内容：恩湯解体や河川整備など大きな動きを発信する

目的：長門湯本が変わっていくという認知の向上

② まちに起こる小さな変化をセンス良くまとめて発信する

内容：店舗のオープンや素敵な日々の写真など

目的：湯本ファンを増やすようなブランディングを行う。

③ 実務的な告知・参加者募集など行う

内容：WS やセミナーといったプログラムの告知・申し込み

目的：プログラムへの参加者の増加

3. プロモーションする項目

	項 目	頻 度
①	恩湯解体や河川整備など公共的な工事等の進捗。	要検討
②	THANKS ONTO、ながトークなど民間実施企画の告知・レポート	企画実施に応じて随時
③	住民 WS などの告知と実施結果（瓦版の掲載）	告知、レポートで月1回ずつ
④	社会実験の告知・事業者募集、実施内容報告	告知1回、事業者募集1回 実施内容紹介5回程度※要検討
⑤	社会実験の実施期間レポート	2~3回×2回（コア期間） 検証結果発表1回
⑥	プロジェクトコンセプトなどの発信	告知1回
⑦	カフェオープンなど兆しを発信	2~3週に1回程度？ 状況に応じて